

## 第17回 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト実施要項

### The 17th Hyogo Prefecture Senior High School English Debate Contest

- 1 趣 旨： 英語ディベートは、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」という技能に加え、「論理的思考力」も必要とする、総合的な英語コミュニケーション能力向上のために有効な学習手段である。本英語部会は、この英語ディベートを本県の英語教育発展のための一つの有効な手段ととらえ、「兵庫県高校生英語ディベートコンテスト」を開催する。本コンテストが、生徒の英語力向上に資するのみならず、現代社会の様々な問題に対処する力を身につける一助となることを期待する。
- 2 主 催： 兵庫県高等学校教育研究会英語部会 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト委員会
- 3 後 援： 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、神戸市外国語大学（予定）
- 4 協 賛： スコア型英語4技能検定 GTEC（株式会社ベネッセコーポレーション）、OUP（オックスフォード大学出版局）（予定）
- 5 日 時： 令和6年2月4日（日）8:30～17:00
- 6 会 場： 神戸市外国語大学（神戸市西区学園東町9丁目-1）
- 7 参加条件：(1) 県内の高等学校または高等専門学校3年までに在学する生徒及び中等教育学校の4年から6年に在学する生徒。  
(2) 英語のネイティブ・スピーカーは不可。  
(3) 以下の条件のいずれかに該当するものは各チームに登録は2名、試合への参加は1試合につき1名まで認める。  
(a) 満5歳の誕生日以後に、英語圏(英語を公用語または公用語に準ずる言語として使用する国・地域)で、通算12ヶ月以上滞在経験のある生徒。  
(b) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関して実態として英語による授業を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことのある者。  
(c) 満5歳の誕生日以後に、保護者(両親)または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。  
※本大会の公平性が疑われることのないよう、参加条件(3)については各校で十分に確認のうえ、厳守のこと。
- 8 チーム構成： 1校1チームとし、試合出場者は1チーム3～4名とする。  
各チーム補欠を含め登録は6名までとする。  
※参加校は帯同審判2名（ALT等可、生徒引率兼任可）を派遣すること。
- 9 対戦方法： (1) パワーペアリング方式で予選を行ない、その結果を基に決勝トーナメントを行う。  
(2) 予選は3試合行う。1試合目は抽選で対戦相手を決め、2試合目と3試合目はパワーペアリングにより対戦相手を決める。  
(3) AFFとNEGのサイドについては運営側で割り振りをする。
- 10 論 題： Resolved: That the Japanese Government should legalize gestational surrogacy.  
「日本政府は、代理母出産を合法化すべきである。是か非か。」  
※付記事項、論題解説については、高英研ホームページを参照のこと。
- 11 表 彰： 1位、2位、3位(2チーム)には賞状及びトロフィーまたは楯を授与する。また、ベスト8に入ったチームには賞状を授与する。
- 12 ルール抜粋： (1) 立論においては、論点を2つ提示すること。  
(2) ディベート審査用紙（2023年度よりHEnDA方式）に基づき勝敗を決定する。  
審査基準参考 URL <http://henda.global/learning/>  
(3) 「アタック」以降に新しい論点(New Argument)を提示してはならない。  
(4) 「立論」における証拠は、ポスター等を作成して分かりやすく提示すること。  
「立論」以外の証拠は、必ずしもVisual Aidsを用意しなくてもよいが、Visual Aidsの使用が効果的だと考えられる場合は、各校の判断で使用してもよい。

- (5)通信機能の無い時計、ストップウォッチ、電子辞書以外の電子機器は使用不可。  
 (6)スピーチの語数は1分間に140～150語程度とし、立論は最大でも600語までとする。  
 (7)予選ラウンドの上位4校が決勝トーナメントに進出する。

13 対戦形式 (Debate Format) :

Affirmative Constructive Speech (肯定側立論)	4 min.
Strategy Time (作戦タイム)	1 min.
Negative Cross-Examination (否定側尋問)	3 min.
Negative Constructive Speech (否定側立論)	4 min.
Strategy Time (作戦タイム)	1 min.
Affirmative Cross-Examination (肯定側尋問)	3 min.
Strategy Time (作戦タイム)	2 min.
Negative Attack Speech (否定側アタック)	2.5 min.
Affirmative Cross-Examination(肯定側尋問)	2 min.
Affirmative Attack Speech (肯定側アタック)	2.5 min.
Negative Cross-Examination(否定側尋問)	2 min.
Strategy Time (作戦タイム)	2 min.
Affirmative Defense Speech (肯定側ディフェンス)	2.5 min.
Negative Defense Speech (否定側ディフェンス)	2.5 min.
Preparation Time (準備タイム)	2 min.
Affirmative Summary Speech (肯定側総括)	2.5 min.
Negative Summary Speech (否定側総括)	2.5 min.
	total 41 min.

14 日 程 : 8:30～ 8:40 受付

8:40～ 9:00	対戦くじ引き 諸連絡
(8:40～ 8:55	審査員会議、諸連絡)
9:00～ 9:20	開会式
9:30～ 10:30	第1試合
10:45～11:45	第2試合
11:45～12:25	昼食
12:25～13:25	第3試合
13:40	トーナメント進出校発表
13:50～14:50	準決勝
15:10～16:10	決勝
16:10～16:40	休憩・審査会議
16:40～17:00	閉会式

変更点について【まとめ】

- 1 ディベート審査用紙変更
- 2 予選2試合から3試合へ変更
- 3 対戦相手をパワーペアリングで決める (1試合目は抽選)
- 4 決勝トーナメント進出校は8校から4校に変更
- 5 対戦方式について :
  - 1) 否定側尋問後の作戦タイム1分を削除
  - 2) 肯定側・否定側のアタックの後の尋問時間2分を追加
  - 3) ディフェンスの時間を2分から2.5分に変更
- 6 involvement の廃止 :
 

従来、尋問とアタックにおいては3人以上の発言を必要とするルールが存在していたが、そのルールを廃止する。複数のスピーカーが共同して発言することは認められる。

15 参加申込み :

- (1)方法 ①高英研のホームページから「県ディベート大会参加登録用紙」をダウンロードし、必要事項を入力の上、下記の事務局 E-mail アドレスにメールで提出する。  
 ②郵送により「大会出場申込書(※要校長印)」を提出する。
- (2)申込先 県立龍野高校 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト事務局 竹谷 彰浩  
 〒679-4161 兵庫県たつの市龍野町日山554  
 TEL: (0791)62-0886 FAX: (0791)62-0493 E-mail: a\_taketani@hyogo-c.ed.jp
- (3)締 切 ①「県ディベート大会参加登録用紙」 : 10月27日(金)までにメールで提出。  
 ※登録生徒については12月15日(金)まで変更可能であるが、変更済みの登録用紙を速やかに事務局へ提出してください。  
 ②「大会出場申込書(要校長印)」 : 12月19日(火)までに郵送で提出。【必着】

16 その他 :

- (1)審査員講習会(ジャッジセミナー)について  
 日時 : 12月5日(火) 14:00～16:30 (予定)  
 場所 : 神戸市外国語大学  
 ※新しい審査用紙となります。帯同審判の方は原則として参加してください。  
 ※上記日程以外に9月と10月に講習会(オンライン)を開催予定です。
- (2)第18回全国高校生英語ディベート大会(対面方式)への参加を希望する学校は、高英研ホームページより「第18回全国高校生英語ディベート大会兵庫県予選会 実施要項」をダウンロードし、9月1日(金)～9月29日(金)の間に、全国大会担当者まで Google フォームで申し込みをして下さい。 担当 : 県立有馬高校 二森 正人 nimo@hyogo-c.ed.jp
- (3)県高英研ホームページ掲載、大会 DVD 作製等に係る生徒の肖像権等は主催者に帰属する。